
井戸端だより

第26号

発行日：1999.6.30

発行：くらしの学習会



梅雨の季節になりました。田植え後の田んぼからは、毎夜カエルたちの大合唱が聞こえてきます。子守歌というには、にぎやかすぎますか？

さて今回は、地球環境や重信町の水環境について考えたり、のんびり散歩をしたり、真民さんの言葉に触れたり、さまざまな活動をしました。

4月2日には、国際シンポジウム「地球環境問題と森林」で、地球温暖化防止策としての森林の役割などについて、話を聞きました。・・・・・・ 2ページ

4月の例会では、かすみの森公園の「春のおさんぽ会」を企画しました。春の色、春の味覚(?)を探しながら散歩をして、春の色図鑑をつくりました。
・・・・・・ 3～6ページ

5月の例会では、重信町都市整備課の束村さんに、重信町で計画されている公共下水道についてのお話を伺いました。現在の町内河川の水質、下水道事業の実施スケジュール、計画されている処理場などについて、詳しいお話を聞くことができました。
・・・・・・ 7～9ページ

6月の例会でも重信町都市整備課の束村さんと池田さんにご登場いただき、上林地区の農業集落排水処理場を見学しました。処理場とは思えない外観の建物に皆驚きました。
・・・・・・ 10～11ページ

山之内の酒だる村に坂村真民さん(詩人)の記念碑が建立されましたので、6月13日の除幕式に参加しました。
・・・・・・ 11ページ

国際シンポジウム“地球環境と森林”に参加して

「エビを食べるバカ・やしの実石鹼を使うバカ・木を切らないバカ」こんな言葉を耳にしたことがある。バカは差別用語でけしからん等と枝葉末梢のことに気を取られないで、そのいわんとするところを考えてもらいたい。

4月2日松山市民会館で、愛媛大学・日本林学会主催の国際シンポジウム「地球環境問題と森林」が開催された。地方都市から世界への発信、しかも世界各国の第一線で活躍中の方々を招き、現状報告と今後の戦略を発表してもらうという画期的な試みだった。

冒頭の言葉の真の意味が、このシンポではっきり理解できた。以前くらしの学習会では、愛大の林教授に「木と環境」という題で講義してもらったことがあったので、現状での問題点はおおよそ把握していたつもりだった。したがって今回のシンポジウムで特に目新しい問題点に出合ったわけではないが、日本人が大量に消費するエビの養殖のために失われるマングローブの林、環境によいと思いこんで使うやしの実油の石鹼のために森林を破壊して作られるやしのプランテーションの現状を示すスライドはショックだった。

「木を切らないバカ」は、少々説明を要するだろう。地球温暖化の防止に有効とされている森林、木には二酸化炭素を固定する働きがあるから、森林は多ければ多いほどいいはずだ。それなら、木を切るなどというのはもっての他と言う論理になるのか。否！木に炭素を固定する働きがあるのは、若い木だけで、老木にはほとんどないということらしい。したがって木を一切切らないと言うのはナンセンスで、森林には適当に手を入れなければうまく機能しないと言うことだ。しかも、木材というのは環境負荷の最も少ない材料なのである。全ての工程を考慮して最もエネルギーを使わないエコマテリアルというわけだ。しかもリサイクル可能ときている。要は、森林面積を減らさないよう、木を有効に、しかも長く利用していくことが最も環境にやさしいということなのだ。

現在その特質を利用し、発電に利用しようと言う動きも活発になっているとのことである。化石燃料と違い、燃やしても炭素放出+0ということになるわけだから、リサイクルの一環に組み入れられればより一層意味を持つことだろう。

京都議定書のからみでの問題提起で「国によって森林面積の考え方など基準がバラバラで一律に数値目標など論じられない現状がある。」とあった。国ごとの取り組みもさることながら、地球全体で一つのゴール達成を目標とすべきことを痛感した。国益だの経済性だのと言っていられないくらい深刻な事態になっていることを肝に銘じて、各自できうる限りの方法と努力で取り組むべき時が来ていると考えさせられた一日だった。

(T・H)

春のおさんぽ会

みなさん、こんにちは。あたたか〜い春になりましたね。
田んぼにはレンゲが咲きました。空ではヒバリがさえずっています。
皆さんもそろそろ、お散歩がしたくなっているのではありませんか？
そんな方は、私たちと一緒に、春のかすみの森を歩きましょう。
でも今回は、お散歩だけではなく、いろいろなものを探しにゆきますよ。



日時：1999年4月24日（土曜日） 午後2時～3時30分

場所：重信町かすみの森公園

集合：午後2時に現地，あるいは，午後1時30分に重信町町民会館

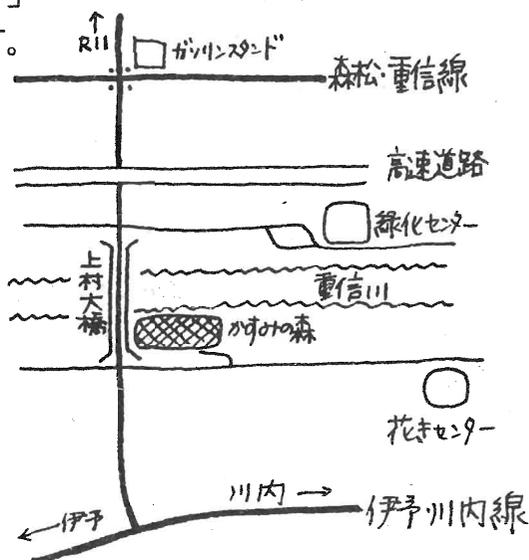
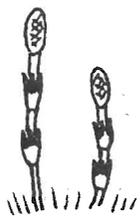
内容：「春の色って、どんな色？」

をテーマに，お散歩します。

持ち物：筆記用具

参加料：無料

その他：雨天の場合は中止です。



※おさんぽ会に参加するには、申し込みが必要です。

参加のお申し込みは、4月22日までに林さん宅（089-964-6956）へ。

電話かファックスで、「参加者のお名前」、「年齢」、「連絡先」、

「集合場所（現地か町民会館か）」をお知らせください。

くらしの学習会

春の色、たくさん見つけました

「春のおさんぽ会」 日時：1999年4月24日

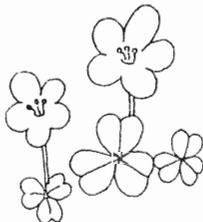
場所：かすみの森公園

参加した小学生の感想です。

かすみの森公園は春がいっぱいでした。まず、最初に「春の色さがし」をしました。紙が本になるように作られている紙に、色紙（水色とか、黄色とか、ほかにもたくさん色がありました）がはってあって、それに似ている花の色をさがす遊びです。斉藤さんが大きいハンカチを広げて、かごを作ってくれて、そのかごに花を入れたりしました。途中でチョウチョをつかまえたりしながら行きました。終わりの合図は笛を鳴らしました。変な音がします。ブタがないみたいです。そして、一休みして遊びました。その後、みんなで散歩していると、ヨモギやイタドリがありました。Mさんといっしょに採りました。しばらく歩いていると、うぐいすの声がしてきました。Mさんが、口笛でうぐいすのまねをしました。すると、そのたびに、うぐいすの声が返ってくるのです。すごくおもしろかったです。ヨモギもイタドリも採れて、みんなとなかよくできたので、うれしかったです。

やはり、春。草が可憐な花をつけて、“色”を提供してくれました。すみれ、オオイヌノフグリ、ハコベ、スイバなど…。採った草花を用意して下さった紙に貼ると、なかなかしゃれた春の図鑑が出来上がりました。土手の上にも行って見ました。ヨモギ、すみれが群生していて、私はせっせとヨモギ摘みに精を出してしまいました。子どもたちはイタドリをかじりながらのおさんぽです。へびに出会ったり、うぐいすと遊んだり、本当にのどかでゆたかな時間を過ごす事ができました。この会の中では、採った植物の名前を教えたりということはありませんでした。まず自然に親しむという事を目的にされたのだと思います。イタドリの笛やハンカチを袋にした事などちょっとした演出が、子どもの心に残ったようです。家へ帰ってから、植物図鑑で採った草花の名前を調べてみました。今まで気にも留めなかった草にも、ちゃんと名前があることに改めて気づきました。斉藤さん、ありがとうございました。

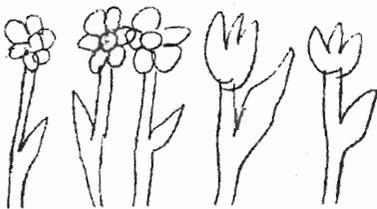
(E.K)



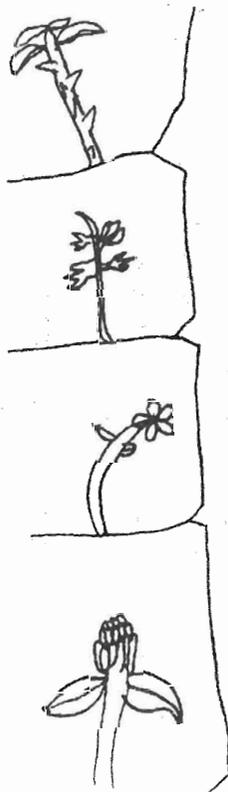
今日は、花と見つけるのが一番楽しかったです。

ケン

とてもしぜんか見花てよかたです
とても楽しかったです。いたどりと
よもぎをとりました。いたどりを食
べてとてもすばかたです。



かいのうなぎさ



かぼ
たの
ぼ
う
を
ふ
り
ま
わ
し
た
ら
ん
ご
か
お
も
し
ろ



いたどりがすばくっておいしかったです
いろいろお花がみつけら
れてよかたです。
よもぎとりもいた人だけ
どと中であきらめてしまいま
した。家にかえたらお母さ
んにいたどりを料理してもら
います。

おや



今日 みんなと一緒にがすみの森公園で
散歩をした。さまざまなお花
を見つけとても楽しかったです。
がすみの森はきれいな所です。また来たい
です。

ケン

路^長靈敏

暖かかい^お日様の顔を向いて、
自然のきれさを見ながら、散
歩と花の探りはたのしかったです
また、みなと一緒に話しを^{しな}
ながら、花を見ているが、^{精神}
にリラックスができています。ありがとう
ございます。

本日はじめてさんほ会を参加しま
した。自然の色をさかしたり、友達と
話したり、ほんとにたのしかった
です。みなさんありがとうございます
ございます。

張波
99.4.24.

拝啓

新緑の候と交りました。お元気でいらしゃいますか。
先日はお散歩会に参加させていたいただきどうもありがとう
ございました。

おかげさまでさわやかな春に家族全員楽しい時を過ごす
ことができてました。又日本語で日本人の方々と交流もできてまし
た。きれいな公園でいろいろな花とほばを取って図かんをフ
くりました。うちに帰ったら家族三人でもう一回つくた図かん
を見て楽しみました。楽しい一日でした。今度夏になったら
友達と一緒にかすみの森公園へ納涼に行くつもりです。
本当にお世話になりました。

これからよろしくご指導くださいますよう お願い申
しあげます

五月十日

敬具

ヤンリッ

こちらこそ、ありがとうございます。ございました。
時々お散歩してみてくださいね。

齊藤 智子



重信公共下水道計画について

5月21日、重信町都市整備課の東村さんに来ていただき、その計画内容と実施状況についての話を聞きました。

この計画は、平成7年を目安にし20年後の将来予想を立て、計画目標を平成27年度にしてあります。そして町全体を、都市化の進んでいる地域、農村部、散在集落、と3つに分けて、それぞれに合う方法で整備を進めようとしています。

農村部では、農業集落排水事業として整備が進んでいます。

すでに上林地区では、平成9年度から供用が始まっていて、70%の普及率に達しているそうです。また、拝志（下林・上林）地区では、平成10年度から着手しているということでした。

都市化の進んでいる地域では、下水道事業を進めるに当たり、地図上の地域（次ページ参照）から取り掛かろうとしています。重信町西部から東部へと整備が進むとして、大まかに考えて、横河原や樋口方面への取り掛かりは8～20年先になりそうです。

せっかく下水道が一部整備されても、重信町が排水する水は、20年先でもきれいにならないのです。そこで、合併浄化槽を併用した整備方法を考えたほうがいい、という意見がでましたが、設置費用が60万円ほどかかるのは個人負担としては、大きすぎます。それに年間維持費用が6～7万円かかるのです。

設置には、町の出来るだけの補助が必要です。

この日、くらしの学習会の数名が町役場へ行き、合併浄化槽の設置補助を要望する意見書を出しました。是非、考えてほしいと思います。

また、下水道処理施設の問題もあります。

そこで6月の例会は、上林地区の処理場を見学することになりました。

南野田に予定されている処理場は、この約48倍の汚水量を処理する大きさですが、処理方法は同じ活性汚泥方式です。汚水が、どのようにして処理され、どのくらいきれいになるのか、を数値ではなく目で見て確かめてこようと思います。

そして、周りの臭気はどの位なのか、また騒音はどうなのか、も五感をしっかり動かして確かめたいと思います。

この会の終わりに、東村さんら役場の有志が、エコタウン研究会を結成しているという話を聞きました。町の環境を少しでも良くする為に、自分達で出来ることから活動しているということでした。

うれしいですね！ 町内に暮らしや環境を考えるグループが次々に出来て、その枝葉を伸ばして行ってほしいですね！

(R.D)

松山市

最初に取り掛かる地域

浄化センター

放流管渠 約890m

重信川

計画区域図

川
内
泉
町
郡

全体計画区域面積
574.0 ha

凡		例	
項目	色別	面積	
全体計画区域	-	574ha	
用途区域	斜線	243ha	
市街化調整区域	斜線	328ha	
浄化センター	黒塗り	3ha	
放流管渠	線	-	

表1-27 町内河川、水路の水質測定結果(BOD)

(単位: mg/ℓ)

地点	年													
	S. 55	S. 56	S. 57	S. 58	S. 59	S. 60	S. 61	S. 62	S. 63	H. 元	H. 2	H. 3	H. 4	H. 5
①横河原町宮住宅前	2.5	3.0	1.3	3.5	2.4	2.2	2.7	2.2	3.4	3.0	1.2	4.9	4.4	2.2
②横河原愛媛 ヤンマー販売西	1.1	3.7	2.3	1.3	5.7	3.4	25.0	13.0	15.0	11.0	11.0	7.7	4.3	4.9
③松山刑務所排水	11.0	6.5	4.3	19.0	35.0	17.0	25.0	73.0	94.0	2.3	28.0	0.9	2.7	2.6
④一般・松刑・ 愛大医排水合流点	1.8	4.1	3.1	3.3	3.5	4.2	8.3	1.7	14.0	1.1	8.6	1.1	2.1	2.2
⑤田窪団地 町下水管最終点	4.6	7.3	5.1	8.8	5.7	3.2	14.0	2.4	17.0	5.7	3.6	7.7	6.1	39.0
⑥田窪・牛淵排水 内川流入点前	2.6	5.9	3.4	6.6	6.4	2.4	6.1	3.6	3.8	5.0	4.8	5.4	5.7	4.2
⑦上樋・播磨台排水 内川流入点前	48.0	61.0	63.0	110.0	75.0	64.0	180.0	27.0	62.0	250.0	68.0	80.0	42.0	62.0
⑧牛淵団地排水 内川合流点	9.0	6.5	4.9	5.1	6.7	7.6	13.0	4.5	8.7	8.6	5.5	8.9	5.6	17.0
⑨南野田出作 村田種苗店前	1.2	1.2	5.1	5.7	2.7	4.1	2.8	2.0	1.9	6.4	1.1	1.8	2.6	1.7
⑩牛 谷川鉄工所西	2.3	5.0	4.1	5.3	4.8	4.1	2.8	2.7	3.1	2.4	3.7	6.5	5.0	5.8
⑪上村船川水路 船川神社北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	1.9	3.3	1.6
⑫下林林川橋下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	1.0	1.0	0.8

※平成元年までは1回/年、それ以降は2回/年測定。

資料: 重信町内河川水質検査結果

上の表には、重信町内の河川・水路で測定された水質のデータが示されています。この表を見て、「とても汚い水が流れているところがある」と驚きました。もちろん、BODの結果だけで水質全体を把握することはできませんが、少なくとも、河川の「生活環境の保全に関する環境基準」のうち、最低ランクである「E: 環境保全」の10mg/ℓ以下であってほしいと思うのです。

水をきれいにすることは自分たちの暮らしを守ることでもあります。そろそろ、町内の水質浄化に取り組まなければならない時期がきているのかもしれない。

ちなみに、この環境基準で最高ランクの「A: 自然環境保全」の場合、BODは1mg/ℓ以下とされています。できることなら、人間以外の生物の暮らしについても考えたいものです。

※BODとは、生物学的酸素要求度のことです。つまり、バクテリアが水の中の汚れ（有機物）を食べる活動のために使った酸素の量ということなのです。汚れを分解するためにたくさんの酸素が必要だということは、汚れがたくさんあるということになります。

上林地区の農業集落排水処理場を見学して

6月4日、汗ばむほどのお天気の中、重信の上林地区浄化センター（農業集落排水施設）の見学に7名で参加しました。

緑に囲まれた静かな場所に建設された処理施設。かわら屋根、白い壁の和風？の外観で、これには一同びっくりしました。屋内では、大きな音の機械たちが、“きれいな処理水作り”に励んでいました。そして、最後の段階の処理水はかなりきれいな水（透視度 90cmくらい 6/4現在）になり、放流されておりました。

なお、1999年5月の時点で72%の世帯が加入しており、処理水の検査結果は、BOD 1.3mg/l, COD 6.7mg/l, SS 1.3mg/lとなっているそうです*。

また、第2基として、平成10年度より拜志地区に同じような処理施設を建設するということでした。

以前に読んだ本の中では、「下水処理場は”汚れもの”だから”嫌われもの”である。しかし、それが自分たちのものであれば、そして計画が納得できるものであれば、皆で受け入れるべきものであり、それこそ民主主義、地方自治の精神ではないのか」、「川がなくなるような下水道ではなくて、川がよみがえるような下水道をつくりたい」と、さまざまな角度から語られていました。中西準子さんが書かれた「下水道 水再生の哲学」という本です。下水道の知識の乏しい私にも、多くのことを教えてくれた1冊でした。

私の子ども時代には、“川”にはまだ十分な自浄作用がありました。農業用水・生活用水・下水処理水、そして何より、子どもたちにとっては、楽しい遊びの場でもあったのです。たえず水は子どもの手の届くところにあり、我が家の前にも後ろにも、小さな小川が流れていました。

しかし、それらの川を見えなくして、生活が便利になることに、川の水は汚れを増しました。そして、メダカもホタルもいなくなりました。

川がよみがえるように、流す水にもっと関心を持って生活してゆきたいものです。

(H.M)

- ※ BOD：生物化学的酸素要求量，COD：化学的酸素要求量，
SS：細かいゴミの量
単位として、mg/lではなく、ppmが使われることもあります。
1mg/l=1ppmです。

いま生活雑排水は環境汚染最大の原因といわれています

BOD 1～5 mg/l	川の上流の水質 鮎その他の魚がすめる
BOD 8～20mg/l	農業用水として利用できる 下水処理場の放流基準
BOD 90mg/l	従来の単独処理浄化槽の 放流基準（川に悪臭が漂う）
BOD 150～200mg/l	生活雑排水を未処理で 流した場合 （環境汚染が深刻化）

あなたの家の
近くの川は
どうですか？



坂村真民さんの500番目記念碑の除幕式に参加して

6月13日、山之内の酒だる村にて、坂村真民さんの500番目記念碑の除幕式が行われました。坂村真民さんは、「念ずれば花ひらく」という言葉で知られる詩人です。

重信川下流域の砥部町に暮らす真民さんは、上流に特別な思いを持たれていらっしゃるとのこと。そこで今回、記念すべき第500番目の碑を上流の酒だる村に建立したいと申し出られたそうです。

除幕式では、真民さんが自ら記念碑に祈りを捧げられました。その後、両手、そして額を碑につけて、碑に魂を込めて（多分そうだと思います）いらっしゃいました。碑の傍らに飾られていた白くて大きな朴の花が、強く印象に残りました。

右下の言葉が碑に刻まれていたものです。

除幕式の日にも河鹿（かじか）は鳴いていました。私たちは、河鹿の鳴き声と真民さんの奏でる琵琶の音に包まれて、厳かな、そして温かな除幕式を終えました。

重信川が、いつまでも河鹿の鳴く自然豊かな川でありますように。
(T.S)

河鹿鳴く
重信川の
川上に
われの詩魂は
とわに
とどまる



草木染めへのお誘い

先日、「アカネ」という野草を使って、草木染めをしました。アカネ染めです。使った部分は根です。掘ってみるとわかりますが、本当に赤い根なんですよ。

アカネ染めは、山へ行ってアカネを見つけ、根元を探り当て、根を掘り出すことから始まります。こう書くと簡単そうですが、これがなかなか大変でした。アカネの茎は横になが〜く伸びて、茎をたどっても、なかなか根元にたどりつけないのです。でも、ちょっとした探し物ゲームのようで、つい夢中になっていました。

さて、採った根は洗わずに日に干して乾燥させました。乾燥したら、いよいよ染めのスタートです。根を煮出して染液をとり、そこに白い布や糸を入れました。しばらく煮たら、ミョウバン液で色止めをし、これで染めの作業は終了です。

きれいな茜色に染まりました。次回は来年です。一緒にいかがですか？

(T.S)



【今後の予定】

- ・ 7月2日（金） 「ストレッチ講座」 講師：大六良子さん
午前10時から町民会館2F研修室。バスタオル持参。動きやすい服装で。
- ・ 9月には、「介護保険法」について学習する予定です。
詳しい日程などは後日ご連絡いたします。



くらしの学習会では、随時会員を募集しております
活動会員 2,000円/1年 購読会員 1,000円/1年
振込口座番号（郵便局） くらしの学習会 01610-5-21026
問い合わせ先 電話・ファックス 089-964-6956（林）

編集後記

重信川の上流域の河畔にホタルを見つけました。ゆっくりと光を放ちながら飛ぶホタルを眺めていたら、明日も頑張るぞと力が湧いてきました。

単純でしょうか。

(T.H & T.S)